

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		橋梁維持補修事業						予算事業名		橋梁維持補修事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法第42条					
				08	02	02	2201	経常経費							
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業					
		快適で住みやすいまちづくり													
		道路維持管理の充実						担当課係等		土木課 管理係・維持係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
令和元年度に策定した結城市橋梁長寿命化修繕計画に沿って橋梁の維持管理を行うことにより、維持管理費用の縮減、平準化を図りつつ、安全で安定的な橋梁の維持管理を実現する。								平成26年度に道路法が改正され、道路橋定期点検要領に則り、5年に1度の定期点検が義務付けられた。これを受けて令和元年度に結城市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、令和2年度以降この計画に従い維持管理を行っていくもの。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
結城市橋梁長寿命化修繕計画では、将来50年に渡り、市内228個所の橋梁構造物の維持管理に係る計画を定めている。この計画に基づき橋梁の維持管理を進める。								橋梁の利用者							
								【事業をとりまく環境の変化】 結城市の管理する橋梁は、昭和30年代に始まる高度経済成長期を中心に建設され、これらの橋梁の多くは建設後50年以上が経過し、多くの橋梁に経年劣化が生じており、計画的で経済的な維持管理が急務の課題となっていた。							
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】							
・無名橋31ほか19橋の修繕工事 ・無名橋41ほか91橋の点検				・無名橋126ほか2橋の修繕工事 ・無名橋178の更新設計 ・無名橋211ほか85橋の点検				・無名橋178の更新工事 ・無名橋121ほか1橋の更新設計 ・橋梁長寿命化修繕計画の見直し							
■事業費															
				R02年度		R03年度									
財源内訳	国庫支出金	0		28,588											
	県支出金	0		0											
	地方債	0		17,400											
	その他	0		0											
	一般財源	0		8,512											
歳入計（千円）		0		54,500											
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）										
	12 委託料		0		9,500										
	14 工事請負費		0		45,000										
歳出計（千円）（A）		0		54,500											
伸び率（％）				皆増											
備考															

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	修繕必要橋梁数（判定Ⅲ）	橋	目標	0.00	0.00	31.00
			実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	道路法により橋長2m以上の橋梁は5年に1度の定期点検が義務付けされている。市内の多くの橋梁が建造から50年以上経過し、経年劣化が進んでいる。安全な道路構造物を適正にかつ経済的に維持管理を行っているものであり必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	橋梁管理者である市が行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	橋梁長寿命化修繕計画に従い維持管理を行うことは、経費の削減、平準化につながることであり妥当な施策である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	橋梁長寿命化修繕計画に従い定期的な点検、適正な修繕工事を行うことにより、経費の削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内の橋長2m以上の橋梁全てが対象となっており公平性は確保されている。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	経年による橋梁の劣化、崩壊等による事故は発生していないものの、予防と将来に向けた経費削減を目的としており判定は困難である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	国庫補助事業として採択率が高い事業となっているため、順調な計画遂行が期待できる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
安全な道路施設を提供するという責務を全うする事業であり、非常に重要な事業である。橋梁長寿命化修繕計画に基づいた維持管理により事業費の削減、平準化を図るが、毎年度の総事業費の平均が5千万円前後となっており、莫大な事業費であることは否めない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
新技術の導入など、さらなる経費削減策を講じていく必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 結城市が管理する228橋について橋梁長寿命化修繕計画に基づき経済性、耐久性を考慮しながら改革性を実施する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	